

令和6年度
「中学生モ二夕一会議」
活動記録

東京都北区総務部区長室

＜はじめに＞

北区では区民の方々から、区の施策に対する意見・要望・提案等を直接伺う「区政モニター会議」を開催しています。この「区政モニター会議」は、意見・要望・提案等を伺うだけではなく、区政への理解を深めていただくことも目的としています。

このほか、各世代が抱える課題や地域・区政が抱える課題等について話し合い、大人では気付かない視点から意見・要望・提案等を出していただく場として、小学生を対象とした「小学生との区政を話し合う会」、中学生を対象とした「中学生モニター会議」、高校生を対象とした「高校生モニター会議」を開催しています。

さて、このたび、中学生を対象とした「中学生モニター会議」を行い、活動記録を作成いたしました。

今年度は、「子どもの幸せ No.1 のまち」及び「かわまちづくりで実現したい風景」というテーマのもと、夏休み中の3日間（施設見学会含む）のべ17時間の会議を行いました。

はじめに、各グループで、テーマに関する話し合いを重ね、発表会に向けて発表資料を作成していただきました。そして、最終日の発表会では、区長の前で作成した発表資料をもとに、『『北区教育・子ども大綱』のキャッチフレーズやデザイン』、「かわまちづくりで実現したい施設や取り組み」について発表していただきました。

この活動記録では、中学生モニターの皆さんが「区に対して行った提案の内容」や、「提案に至るまでの経過」を紹介しています。

なお、中学生モニターの皆さんからの提案については、今後の区政運営の参考として、引き続き、若い世代の貴重な意見を区政に反映するよう努めてまいります。

令和6年12月

東京都北区総務部区長室

目 次

1 「中学生モニター会議」 活動内容.....	1
2 「中学生モニター会議」 発表会会議録.....	9
1. 開 会.....	9
2. 区 長 挨 拶.....	10
3. 出席者紹介.....	10
4. 活 動 報 告.....	11
5. 発 表.....	12
6. 講 評.....	32
7. 閉 会.....	40

1 「中学生モニター会議」 活動内容

令和6年度の「中学生モニター会議」には、15名の中学生に参加していただきました。はじめに全体を通しての「活動内容」を紹介していきたいと思います。

「中学生モニター会議に参加してみようかな」と思っている中学生の皆さんは、ぜひ参考にしてください。

令和6年度中学生モニター 活動実績

会 議	日 時	会 場	内 容
委嘱式 ・ 第1回会議	7月23日(火) 9:00～16:00	北区役所別館 2階研修室	・委嘱式 ・班内での自己紹介 ・テーマ1※についての現状把握、話し合い提案検討 ・発表資料／台本の作成 ・発表練習
施設見学 ・ 第2回会議	7月26日(金) 9:00～16:00	・施設見学 荒川知水資料館等 ・会議 赤羽文化センター 第3学習室	・まち歩き、施設見学 ・計画概要の説明 ・テーマ2※についての話し合い提案検討 ・発表資料／台本の作成 ・発表練習
発表会	7月30日(火) 9:00～12:00	北区役所別館 2階研修室	・テーマ1及び2についての提案報告

※テーマ1：子どもの幸せ No.1 のまち

テーマ2：かわまちづくりで実現したい風景

(1) 委嘱式

中学生モニターの最初の顔合わせです。自己紹介をしたり、今後のモニター会議の流れ等について説明を聞きました。

委嘱式の様子



グループワークの様子



(2) 施設見学会

今年度は北区志茂にある「荒川知水資料館」にて施設見学会を行いました。こちらは、荒川の洪水・水害の歴史や自然環境などの情報を発信する施設であり、モニターは荒川の歴史、水害対策、治水事業、荒川の生きものなどについて学びました。

施設見学の様子



(3) モニター会議

中学生モニター会議の中心となる活動です。活動は夏休みに集中させ、学校の行事や学業に支障がないよう行いました。

今年度は、3つの班に分かれ、班ごとにグループワークを行いました。グループワークでは、「子どもの幸せ No.1 のまち」及び「かわまちづくりで実現したい風景」

の2つのテーマについて取り組みました。「子どもの幸せ No.1 のまち」については、「全国の大綱を比較してみよう」→「子どもの幸せ No.1 のまちとは」→「大綱のキャッチフレーズ、デザインや構成を考えてみよう」という流れで考えていただきました。また、「かわまちづくりで実現したい風景」については、「施設見学で気付いたこと」→「かわまちづくりに関する取組の検討」という流れで、考えていただきました。

「グループワーク」や「会議」というと、なんだか難しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはまったくありません。実際に参加してくれたモニターからも、「違う学校に通う生徒とたくさん話すことができてすごく楽しかった」「いろんな視点から北区について話し合うことができて、とてもいい時間だった」などの感想を寄せてくれています。

気楽な雰囲気の中で自分の意見を発表してもらえよう心がけていますので、ぜひ、皆さんもモニターに応募してください。

きたコン（学習用端末）を
使用したグループワークの様子



グループワークの様子＜1班＞



グループワークの様子＜2班＞



グループワークの様子＜3班＞



（４） 発表会

区長や区の関係者が出席するなか、区への提言と感想を発表してもらいました。

3日間という短い期間でしたが、会が終わるころには初日から一歩も二歩も成長し、自信にあふれた良い顔つきをしていた姿が印象的でした。

発表の様子＜1班＞



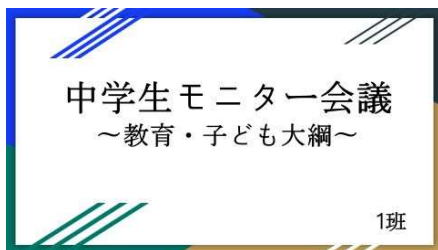
発表の様子＜2班＞



発表の様子＜3班＞



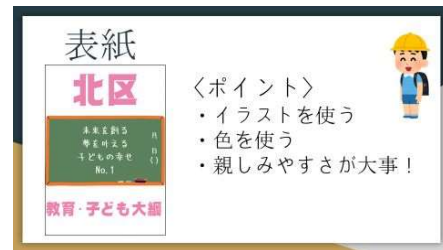
発表に使用した資料＜1班＞



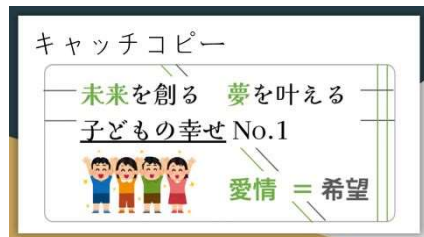
1 ページ



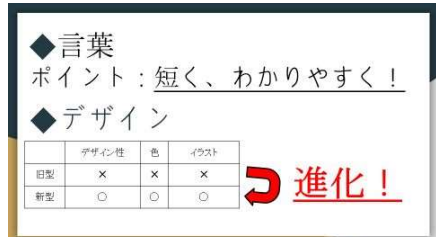
2 ページ



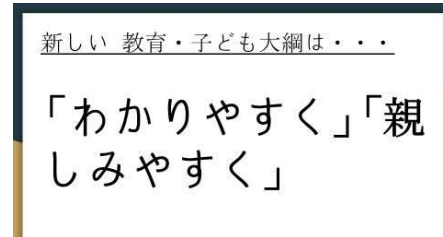
3 ページ



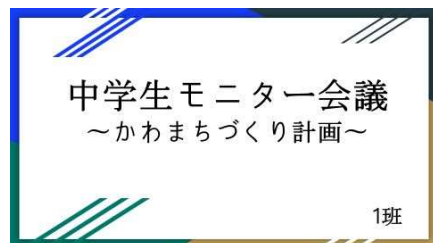
4 ページ



5 ページ



6 ページ



7 ページ



8 ページ



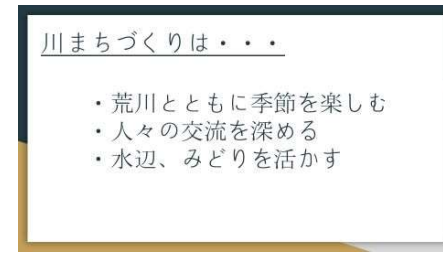
9 ページ



10 ページ



11 ページ



12 ページ

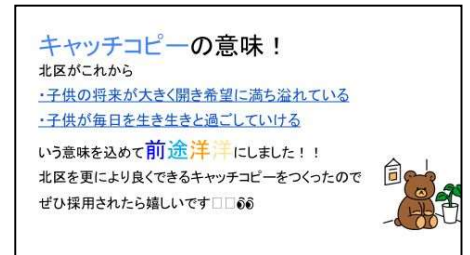
発表に使用した資料＜2班＞



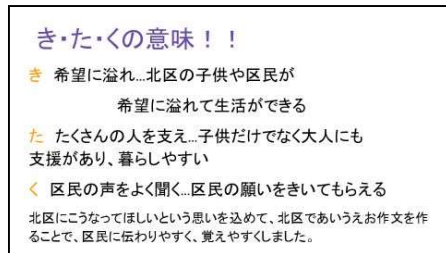
1 ページ



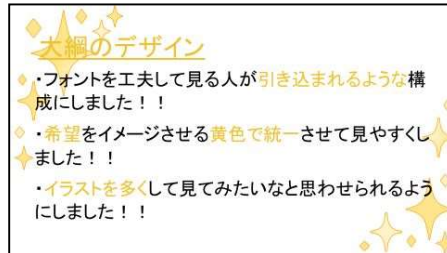
2 ページ



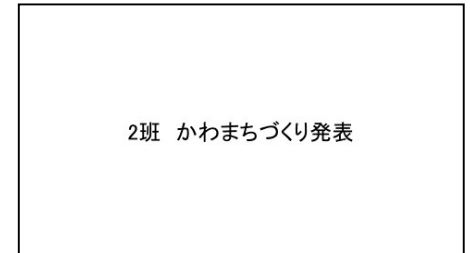
3 ページ



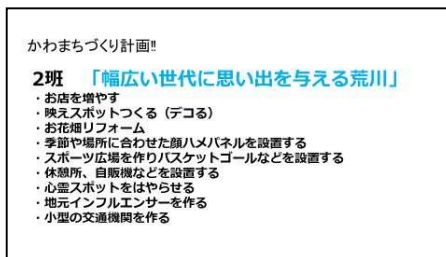
4 ページ



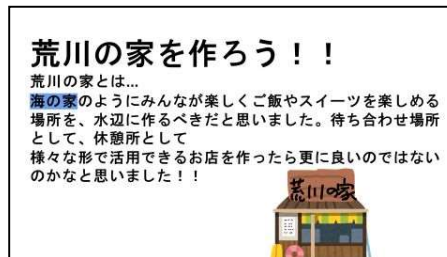
5 ページ



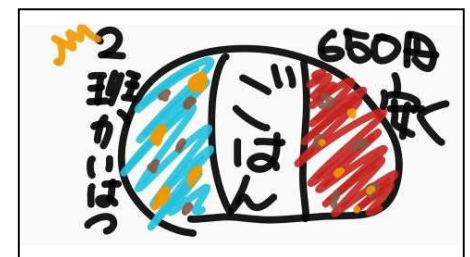
6 ページ



7 ページ

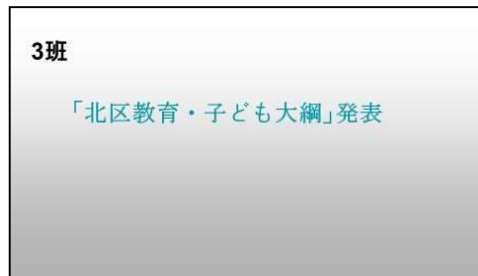


8 ページ

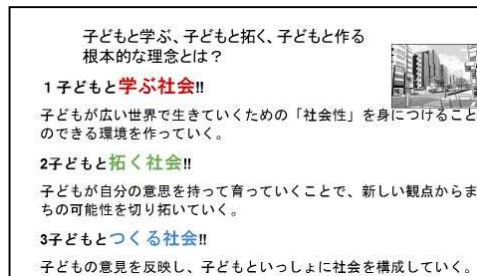


9 ページ

発表に使用した資料＜3班＞



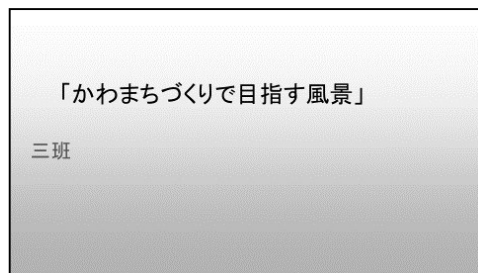
1 ページ



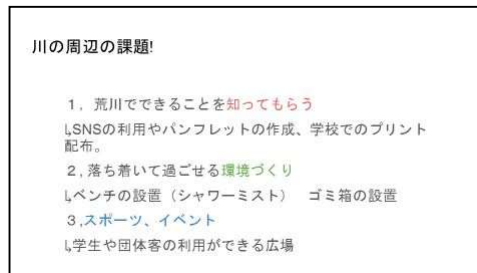
2 ページ



3 ページ



4 ページ



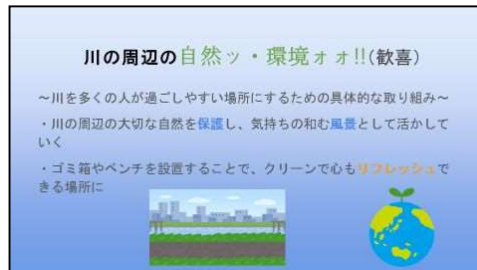
5 ページ



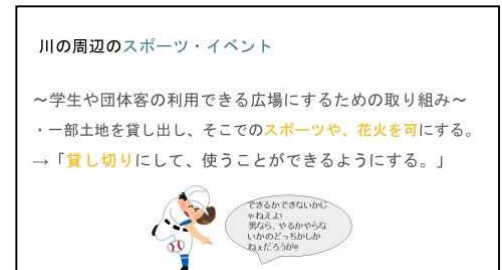
6 ページ



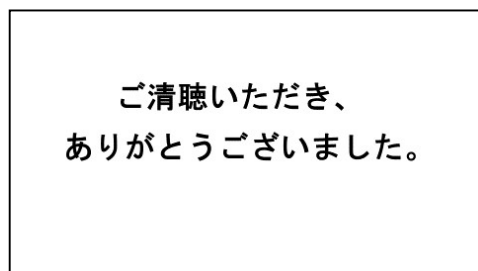
7 ページ



8 ページ



9 ページ



10 ページ

集合写真＜1班＞



集合写真＜2班＞



集合写真＜3班＞



2 「中学生モニター会議」発表会会議録

- 日 時 令和6年7月30日（火） 午前9時から午前12時
- 場 所 北区役所 別館研修室
- テーマ 「子どもの幸せ No.1 のまち」及び
「かわまちづくりで実現したい風景」
- 出席者 中学生 8校15名
区長、教育長、教育委員、政策経営部長、教育振興部長、
子ども未来部長、企画課長、企画課職員、まちづくり推進課長、
まちづくり推進課職員、区長室長、区長室職員

1 . 開 会

◎区長室長

それでは、定刻になりましたので、令和6年度中学生モニター会議発表会を始めたいと思います。

皆様、おはようございます。本日はお暑い中、ご出席いただきましてありがとうございます。これより、令和6年度中学生モニター会議発表会を行いたいと思います。

委嘱式に続きまして、本日も司会を務めさせていただきます、区長室長です。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに事務連絡です。

本日も前回の委嘱式のときと同様に、広報課の報道担当が来ております。皆さんの様子を撮らせていただきまして、写真を各新聞社に提供するとともに、区のホームページなどに掲載をしていきたいと考えております。

また、本日はケーブルテレビのJ：COM株式会社も取材に来ておりまして、皆さんの様子を撮影・録画いたします。こちらのほうは「ジモト応援！東京つながるNews」という番組内で放映予定でございます。放送日の詳しい情報は、お手元に配付しております資料、こちらのチラシのほうをご覧くださいと存じます。

なお、発表会が終了した後、報道担当及びJ：COM株式会社から取材をさせていただく場合がございますので、その際はご協力をお願いいたします。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

また、これまでのモニター会議の写真をGoogle Classroom※1に格納しておりますので、もしよろしければ、後ほどご覧ください。

それでは、開会に当たりまして、やまだ区長からご挨拶を申し上げます。区長、よろしくお願いいたします。

２． 区長挨拶

◎やまだ区長

皆さん、おはようございます。今日はお暑い中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。

そして、モニターの皆さん。この３日間全て、まち歩きも含めて大変お疲れさまでした。

そして、今日の発表です。とっても楽しみにして来ました。ぜひとも、みんなで協力をして、発表を頑張っていたきたいと思います。

この北区を本当によいまちだなんて、誰もが思ってもらえるようなまちにしたいという意味で、特に児童・生徒、子どもたちの視点を取り入れた区政が、どんな方にとってもよい区政になると、私は思っています。

そういった意味で、今回の中学生モニター、皆さんの役割は、とっても大きいです。そういった意味で、ぜひ、今日頑張っていていただいて、必ず皆さんの今日のご意見を、これからつくっていきます『北区教育・子ども大綱』、そして、かわまちづくりの中に反映をし、よりよいまちづくりをしていきたいと思っています。

どうぞ、今日はよろしくお願いいたします。楽しみにしています。

３． 出席者紹介

◎区長室長

やまだ区長、ありがとうございました。

続きまして、本日の出席者を紹介いたします。

改めまして、やまだ区長でございます。

◎やまだ区長

よろしくお願いいたします。

◎区長室長

政策経営部長でございます。

◎政策経営部長

おはようございます。発表を楽しみにしています。皆さん頑張ってください。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

子ども未来部長でございます。

◎子ども未来部長

おはようございます。今日は皆さんの発表を楽しみに聞かせていただこうと思っています。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

教育振興部長でございます。

◎教育振興部長

皆さんおはようございます。皆さんの発表を楽しみにしています。頑張ってください。

い。

◎区長室長

企画課長でございます。

◎企画課長

おはようございます。今日は発表を頑張ってください。

◎区長室長

まちづくり推進課長でございます。

◎まちづくり推進課長

おはようございます。発表、よろしくお願いします。

◎区長室長

また、本日は教育委員会の皆様も発表をご覧になられます。

教育長でございます。

◎教育長

どうぞよろしくお願いいたします。

◎区長室長

〇〇委員（教育委員A）でございます。

◎教育委員A

おはようございます。よろしくお願いします。

◎区長室長

〇〇委員（教育委員B）でございます。

◎教育委員B

よろしくお願いいたします。

◎区長室長

〇〇委員（教育委員C）でございます。

◎教育委員C

よろしくお願いいたします。

◎区長室長

〇〇委員（教育委員D）でございます。

◎教育委員D

おはようございます。よろしくお願いいたします。

◎区長室長

〇〇委員（教育委員E）でございます。

◎教育委員E

おはようございます。本日はよろしくお願いいたします。

4 . 活 動 報 告

◎区長室長

それでは、発表に入ります前に、これまでの活動につきまして、簡単にご報告させていただきます。

職員の皆様には、メールにて送付いたしました令和6年度中学生モニター活動実績をご覧ください。

教育委員の皆様に関しましては、席上のほうに配付してございます。

中学生の皆さんは、G o o g l e C l a s s r o o mの授業、発表会のフォルダの活動記録をご覧ください。

まず、7月23日に委嘱式と第1回会議を行いました。第1回会議では、3つの班に分かれまして、『北区教育・子ども大綱』について理解を深めた上で、「子どもの幸せNo.1のまち」について、検討し、グループワークを行っております。

また、7月26日の第2回会議では、荒川知水史料館アモアなどでの施設見学を行った後、北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画の策定に向けまして、「かわまちづくりで実現したい風景」について、グループワークを行いました。

そして、本日は、第3回会議としまして、発表会を行います。この後、2日間取り組んだグループワークの成果を区長の前で発表していただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

5 . 発 表

◎区長室長

それでは、グループワークの成果を各班から発表していただきます。

発表は1班から3班、2班の順番でお願いいたします。

発表の前に、氏名、学校名、中学生モニターの活動に参加して感じたことなど、感想をお聞かせいただければと思います。こちらのほうは1人1分程度、お願いいたします。

それでは、1班の皆さん、よろしくお願いいたします。

◎中学生（1班）

浮間中学校2年の〇〇〇です。

3日間、本当に短かったんですけど、なかなか他校の人たちと関わる機会がないので、すごくよい経験になったし、何より楽しかったです。

こうやって、私たち中学生からの目線で話し合ったり、発表したりしたことが少しでも今後の北区に反映されたり、貢献できたりしたのであれば、本当に中学生モニターをやってよかったなというふうに思います。

3日間、ありがとうございました。

◎中学生（1班）

稲付中学校2年、〇〇〇です。

他校の皆さんと、たくさん交流をして、すごい楽しかったし、話合いをしたことで、北区についてもっと知ることができたので、よかったと思います。

あと、最初は不安ばかりだったんですけども、みんなで楽しく活動をするのでできたので、これからにも活かしていけたらと思います。

3日間、本当にありがとうございました。

◎中学生（1班）

十条富士見中学校から来た〇〇〇です。

この中学生モニター会議に参加するまでは、そんな前向きな気持ちじゃなかったんですけど、いざ始まってみたら、すごく楽しくて優しいメンバーに出会えて、自分自身すごく楽しかったです。

あと、この会議を通じて、会議のコツとかを知れたので、来年度以降も絶対続けてほしいなと思います。

3日間、ありがとうございました。

◎中学生（1班）

都の北学園の〇〇〇です。

自分は正直、このモニター会議について、乗り気じゃなかったんですけど、やっていくうちに、やっぱりメンバーとも楽しく話し合えたし、北区について、もっと深く知れたので、よかったと思います。

さらに、自分にはない考え方を持つ人もたくさんいて、やっぱり世界は広いなと思いました。

3日間、ありがとうございました。

◎中学生（1班）

滝野川紅葉中学校2年の〇〇〇です。

この3日間、短い間でしたけれど、他校の皆さんとたくさん交流できたし、知らなかった北区について、いろいろと知って、考えを深めることができたし、いろんな経験もできたかなと思うので、この経験をこれからも活かしていきたいです。

ありがとうございました。

◎中学生（1班）

これから、中学生モニター会議、『北区教育・子ども大綱』について、1班の発表を始めます。

『教育・子ども大綱』について、私たちが大事だと思った「子どもにも分かりやすく、親しみやすく」を基に、表紙やキャッチコピーを作成しました。

◎中学生（1班）

初めに、『教育・子ども大綱』について考えるためにも、私たちは、自分らしく幸せで生きるためにはどうしたらよいかと、「子どもの幸せNo.1のまち」とはどのようなものかについて、考えました。

自分らしく幸せに生きるためにはどうしたらよいかでは、自由を基に4つの観点でまとめ、観点は協調性、関係性、積極性、多様性と考えました。

「子どもの幸せNo.1のまち」についての話し合いでも、1つ目の話し合いと同様に、すすく育つを基に、充実した施設をつくる、個性を尊重する、文化を体験する、自分で進むの4つの観点でまとめました。

それでは、私たちの考えた『北区教育・子ども大綱』の表紙について、説明していきます。

まず、今の『北区教育・子ども大綱』は、モノクロでタイトルのみが書かれている比較的シンプルな表紙であると言えます。子どもに向けた政策ならば、カラフルにしたり、イラストを使用したり、親しみやすいものにするとよいのではないかと思います。

す。また、北区外の自治体の子ども大綱を見てみると、その自治体のキャラクターなどが使用されていたりします。

このように、子ども大綱の表紙として大切なのは親しみやすさであると、私たちは考えました。

◎中学生（１班）

続いて、キャッチコピーについてです。

キャッチコピーは、「未来をつくる・夢をかなえる・子どもの幸せNo. 1」です。

今回のキャッチコピーの言葉は短く分かりやすくまとめ、デザインや色もイラストも加えました。また、このキャッチコピーには「子どもの幸せNo. 1のまち」という目標を達成し、北区で育った人が夢をかなえ、新たな未来をつくり、この北区で育ってよかったと思えるまちにしたいという意味が込められています。

◎中学生（１班）

私たちは、今回のモニター会議を通じて、北区の新しい『教育・子ども大綱』は、子どもたちに対して、より伝わるよう、分かりやすく、親しみやすくすること、実際に私たち子どもが意見を出すことが大事だと分かりました。

◎中学生（１班）

次に、中学生モニター会議、かわまちづくり計画について、１班の発表を始めます。

私たちの考えたコンセプトは「荒川とともに四季を楽しむ」です。まち歩きや、荒川についてのお話を踏まえて、荒川はとても四季の変化が豊かで、素晴らしいものと分かったので、このコンセプトにしました。

◎中学生（１班）

次に、課題についてです。

荒川周辺に人が少ないこと、日影がなく特に真夏は暑いこと、駅から遠く、交通の便が悪いことの３つが挙げられました。

これらの課題を解消するために、四季ごとのイベントや年中行うイベント、設備を考えました。

まず、四季ごとのイベントです。

最初に、春は売店なども出してお花見を楽しんでももらいます。そして、水上バスの上からは、より広大な景色を見ることができるようになります。

次に、夏は荒川花火大会に加えて、夏祭りや水上アクティビティを楽しんでももらいます。

◎中学生（１班）

また、秋は川キャンプや、フリーマーケットなどを行ったり、グランピングなども行います。

最後に、冬にマラソン大会やサイクリングなどをイベントとして行います。

これらのように、四季を通して様々なイベントを行い、楽しんでももらいます。

◎中学生（１班）

次に、年中行うイベントや施設を考えました。

私たちは、荒川をより楽しむために、年中行うことを交通面、環境面、娯楽面の３つで考えました。

まず、交通面です。赤羽駅から岩淵水門までのスタンプラリーを行ったり、荒川周辺の移動を楽にするバスを設置したり、貸出し可能なセグウェイ、自転車を設置することにしました。

◎中学生（1班）

次に、環境面についてです。

暑さを対策するために休憩所を設置したり、シャワーミストを設置したりするなどの対策を取ります。

最後に、娯楽面です。

荒川周辺に、たくさんの人を呼びかけるためにも、川沿いにカフェを設置したり、釣りの大会を行ったりします。また、海の家川バージョン、川の家をつくり、人々の娯楽の場にします。

今回の学習を通じて、かわまちづくりは荒川とともに季節を楽しむということ、人々の交流を深めること、水辺、緑を活かすことという3つのメリットがあると分かりました。

これで1班の発表を終わります。

◎区長室長

1班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、1班の皆さんはこの場に残っていただきまして、残りの2班の皆さんから今の発表に対して質問や意見、感想をお聞きしたいと思います。

では、お願いいたします。

◎中学生（2班）

今の発表を聞いて、すごく、スライドの使い方や提案の仕方がすごく上手だなと思っていて、要点がすごく詳しくまとめられていて、見ているこっちもすごく分かりやすかったです。

そして、誰が言うかとかというの、スムーズに決められていて、聞いていて、伝えたいこととかが本当に分かりやすくてよかったと思いました。

以上です。

◎中学生（2班）

1班の発表を聞いていて、すごく思ったのは、全員が堂々とした態度で、はきはきしゃべっているのがとても印象的でした。

発表に対しての熱意がすごく伝わってきて、北区をさらによりよくしていくんだな、これからの世代を担っていく自分たちがこの発表を活かして、この北区をさらによりよくつくり上げていくんだなという発表をととても感じられて、すごくよい発表だなと感じました。

1班の皆さん、発表、お疲れさまでした。ありがとうございました。

◎区長室長

ほかの班の方からは、質問とかはないですか、大丈夫ですか。

ありがとうございます。

では、区の出席者の皆さんからはいかがでしょう。

では、教育振興部長、お願いいたします。

◎教育振興部長

1 班の皆さん、発表をありがとうございました。

提案いただいたものに対して、1 個ずつ質問させてください。

『教育・子ども大綱』についてです。教育委員会での、私の仕事は、皆さんの学校の教育現場をよくするとか、皆さんの勉強をどういうふうに進めていくかということをやらせていただいています。大綱はその大本になる計画。計画といっても、皆さん見たと思うんですけれども、すごく漠然とした内容だったと思います。キャッチーにつくることによって、みんなに見てもらおうということはとてもよい提案だったというふうに思います。

さらに、『教育・子ども大綱』をみんなの学校で、もっと見てもらうために、例えば、授業とか放課後とかで、うまく使っていくとしたら、どんな使い方があるか、今思いつくことでよいので、教えてもらいたいというのが、まず 1 点目です。

もう 1 つの、かわまちづくりのほうについても、四季をうまく使って人を呼び込んでいくということはすごくよいなというふうに思いました。

今回については、四季のことについて、いろいろ出ていたんですけれども、みんながこういうふうになったらよいなというふうに思ったものを提案してもらっていたと思うんですけれども、例えば、これをより特化して、高齢者の人に来てもらうようにするためには、皆さんの発表に、プラス何があるとよいかなというふうに思ったか、その辺りも、今の思いつきで構わないので、もしよかったら教えてください。

◎中学生（1 班）

『教育・子ども大綱』の広めるための方法なんですけれども、ちょっと現実的じゃないんですけれど、社会科の勉強で取り入れたりしたらいいんじゃないかなと思います。

◎教育振興部長

ありがとうございます。

じゃあ、もう 1 個のかわまちづくりのほうはどうですかね。

北区って結構、高齢の方が 2 3 区の中で、今、3 番目に多いんですけれども、その辺りに対して、どうアプローチするとよいと思いますか。

◎中学生（1 班）

年中行方新しい意見の中に、休憩所を設置するというものがあつたので、今、まちづくりで行ってみたときに、ちょっと暑かったり、日影が少ないなと思ったので、高齢の方が来るには、もうちょっと休みやすいというか、安らぎのあるような場所にしたらいいんじゃないかと思って、そういう提案をしたのと。

あと、高齢の人たちで集まる、何かお話し会というか、お茶会というか、そういうイベントもあつたら、よりよいんじゃないかと思います。

◎教育振興部長

ありがとうございました。

◎区長室長

やまだ区長、お願いします。

◎やまだ区長

1班の方、本当にトップバッターお疲れさまでした。ありがとうございます。

私は、『教育・子ども大綱』のことを聞かせてもらいたいですけれども、自分らしく幸せに生きるためにどうしたらよいかというのと、「子どもの幸せNo.1」でどんなふうにしたら実現できるかというのがあったと思うんですけれども。キーワードがそれぞれ自由というのと、すくすく育つというのがあったと思うんですね。それぞれ、4つの何か視点みたいなものがあったかと思うんですけれども、何か、そこにたどり着くまでに出た意見みたいなもので、ぜひ紹介したいみたいなものがあれば教えてください。

結構、みんなの意見が最初から1つになっていたのかな、どうなのかなみたいなところをちょっと聞きたいなと思いました。

◎中学生（1班）

まず、自分らしく幸せに生きていくためにというところで、まず出た意見が、必要なのが、コミュニケーション力、自分のやりたいことに自信を持つ、自立心、ポジティブ思考、相互理解、人を大事にするなどの意見が出て、それを4つにまとめたときに、協調性、積極性、関係性、多様性というものが出ました。

「子どもの幸せNo.1」というほうでは、大人が子どもの将来を強制しないことや、図書館内に学生ナビが使える自習室を設置することや、子どもが遊んだり、勉強できる環境が整っていること、認められることが勉強だけじゃなく、スポーツや文化などの不自由なく伸び伸びとできることなどの意見が出て、充実した施設をつくる、文化を体験する、個性を尊重する、自分で進むの4つの観点にまとめました。

以上です。

◎やまだ区長

ありがとうございます。

何か、ここに出ている以外にも、いろんな意見が出て、ここまでまとめてきたということですね。ありがとうございます。

◎区長室長

そのほか、ありませんでしょうか。

では、ほかに質問がないようですので、1班の皆さんありがとうございました。お疲れさまでした。

それでは、3班の皆さん、よろしくお願いいたします。

◎中学生（3班）

改めまして、おはようございます。滝野川紅葉中学校2年、〇〇〇と申します。

これマイク入っていますか。すみません、ありがとうございます。

改めてなのですが、この1日目と2日目と、今の1班さんの発表とか、いろいろな経験を通してなんですけれども、こんな中学生が言うのも何様なんですけれども、中学生、すごいなっていうのが、やはり第一です。

いきなり知らない人が集められて、しかもこんな難しい、答えのない討論を物すごくよくこなしていて、さらに、それでこんな堂々と発表できる、本当にすごいなと、なんか中学生ながら、すごいレベルの高さを実感しております。

だから、これからの私たちの発表は、自分なりに頑張っていきたいなと思うのです

が、やはり、こういう生徒会役員とか、そういういろいろな役職に入らないと、こういう機会がなかなかないと思うんですよ。それで北区のいろいろな、かわまちづくりとか大綱とか、いろんなことが行われているんだなということを知ることができて、本当に楽しかったです。

本当にありがとうございました。

◎中学生（3班）

田端中学校から来ました。2年生、〇〇〇です。

自分はこの3日間で、まちづくりを進める上で一番大事なことは、様々な視点から物事を考えて、それも少数意見というのも大切にしながら、まちづくりを進めていくということがとても大切なことだと、自分はこの3日間で感じました。

岩淵水門や荒川など、北区にはもっと誇れる点や個性があると思うので、それをどんどん活かしていければと思います。

3日間でしたが、ありがとうございました。

◎中学生（3班）

堀船中学校2年の〇〇〇です。

この3日間、すごいたくさんのことを経験させていただいて、この経験は、この中学生モニターに参加しないと得られない経験がほとんどだったなと思っているので、この中学生モニターに参加させていただいて、本当にうれしく思っています。

ありがとうございました。

◎中学生（3班）

十条富士見中学校2年の〇〇〇です。

この経験を通して、私はやっぱり大事だと思ったのが、様々な視点から物事を見て、実際に自分の目で見てみるというのは、やっぱり自分で1つの課題について、考える上で大切なことなんだなと思っています。

今回、様々な学校の人や、多くの大人の方々と関わっていくことで、新たな視点や意見を持つことができ、よりよい考えを導き出すための道しるべとなったことがすごくありました。それがやっぱり、これからの私にとっての糧にもなって、よい経験となりました。

本当にありがとうございました。

◎中学生（3班）

都の北学園から来ました、〇〇〇です。

この3日間は、ふだん関わることがない他校の人たちと、いろんな視点から見た北区について、話し合うことができて、とてもよい時間だったと私は思います。

自分が持っていない様々な視点からの意見は、自分にとってとても、自分になからこそ、自分もさらに気づくことがあったりして、とても会話が深まったと私は思います。

私たちの発表が、北区に少しでも貢献できたらと思います。

この3日間、ありがとうございました。

これから、3班の発表を始めます。

◎中学生（3班）

私たちが考えたキャッチコピーは、「子どもと学ぶ・子どもと拓く・子どもと作る社会」です。この構図の説明としては、広がっていく社会の中で、子どもと社会を、学ぶ、拓く、作るの、この3つの観点をつながりを持って、子どもと一緒に社会を構成していくことを分かりやすく表しました。

◎中学生（3班）

この子ども大綱は、次のような視点から成り立っています。

1、子どもと学ぶでは、子どもが広い世界に適用できる能力や社会性を身につけることができる環境づくりをしていきます。

◎中学生（3班）

そのためには、地域が一体となって子どもたちが社会性と自由さを暮らしの中で両立できるような教育をしていくことが必要です。

また、子どもの意見によって、大人が学ぶことができる、そういった仕組みを北区の中で行っていくこともよいことだと考えております。

◎中学生（3班）

2、子どもと拓くでは、子どもの持つ自分の意思から生まれた観点を基にし、まちの新たな可能性を切り拓いていきます。

◎中学生（3班）

子どもの意見を取り入れる環境を整備していくことで、子ども自身の価値観や知識を切り開いていきます。これによって、今までになかったまちづくりに関する様々な視点やアイデアが見つかるかもしれません。

◎中学生（3班）

3、子どもと作るでは、子どもの持った興味や考えを反映し、子どもと一緒に社会を構築していきます。

◎中学生（3班）

また、まちづくりを通して得た経験は、子どもたちにとって、そしてそれらの人が大人になったとき、そういったときに多くの機会に活かされることでしょう。そしてここで大切なのは、この3つの観点、かなり共通点が多かったと思われます。子どもの意見を社会として取り入れていこうということです。

つまり、この3つの観点がそれぞれつながっていくことで、子どもにとっても、大人にとっても、よりよい社会になっていくことができる、そう私たちは考えております。

◎中学生（3班）

次に、表紙のデザインについてです。右のデザインを見てください。大人の手と子どもの手を大きく配置し、大人と子どもが手を取り合い、支えている様子を表しました。また、まち並みの風景を背景にすることで、今後、社会に立つ子どもたちへの支援とともに、子どもが歩いていくことを表し、明るい社会につながるきっかけとなるようなデザインにしました。

◎中学生（3班）

次に、かわまちづくりで目指す風景について発表します。

◎中学生（3班）

私たちが考えた川と周辺の課題としては、１、荒川でできることを知ってもらう。１の改善案として、ＳＮＳの利用や、パンフレットの作成、学校でのプリント配布などがあります。

２、落ち着いて過ごせる環境づくりの改善案としては、ベンチの設営、ゴミ箱の設置が案で出ました。

３、スポーツイベントについては、学生や団体客の利用ができる広場の設置です。
◎中学生（３班）

ここで、この３つをどのように行っていくかなのですが、まず下の丸です。ＳＮＳや学校でのＱＲコードの配布によって、川の周辺でどのようなことが行われているのか、そういった存在を広告いたします。これは北区に住んでいる方々に対しての広告となります。そして、興味を持たれた方が駅に集まります。そして、その駅から川に行く。これが１つ目の川を利用する人です。

そして２つ目なのですが、川が流れています。そして、その下に住宅街がございます。ここに住んでいる人にも川の周辺にあるいろいろな施設を利用していただくことができるのではないかと考えております。

そしてここで大切なのが、駅から川、住宅街から川、両方の道において、私たちがまち歩きをしている間で、かなり道が狭くて、さらに分かりづらい、そういった課題が見られました。

そこで、北区内から電車です。北区内から電車を使っている人、ここの住宅に住んでいる人、両方の人にとって都合のよい便利な案内、看板などの案内、そして道路の整備などを行っていけばよいのではないのでしょうか。

さらに、北区の中で、いろいろな人がいます。そういったいろいろな人にとって、全面的に広告をしていくために、まずはＱＲコードを学校配布。これは学校で配布するため、子どもから保護者の方に伝えることができ、その家族連れとして川を利用していただくことができると考えております。

そしてＹｏｕＴｕｂｅ広告、これにつきましてはＹｏｕＴｕｂｅというものはソーシャルネットワーキングサービスとして、とても多くの人に使われていますので、北区として、北区のみの広告とすることで、多くの人に広告ができるのではないかと考えております。

そして、ここはかなり大事で、北区のまちの立て看板。ふだんＳＮＳなどを利用されていない人にとっても、一目見ただけでまち中を歩いただけで分かる、そういったものができると考えております。

この３つを均等に広告として使うことで、北区に住んでいる人に全体的に広告をすることができるのではないかと考えております。

◎中学生（３班）

次に、川の周辺の自然、環境についての具体的な取組です。この自然、環境についての具体的な取組としては、川の周辺の自然を保護し、気持ちの和む風景として活かしていくことを目標に、ゴミ箱やベンチを設置するものです。

ゴミ箱やベンチを設置することは、川の周辺が清潔に保たれる上に、ベンチがあることによって、運動して疲れた体や歩いて疲れた体を休めることができるという利点

があり、身も心もリフレッシュできる場所にすることを考えています。

◎中学生（3班）

次に、具体的な川の周辺のスポーツ、イベントについてです。イベント内容としては、学生や団体客が利用できるスペースとして、一部の場所を貸出し、そこでのスポーツや花火に関することや、バスケットゴールを用意したり、ネットを張った空間を用意することで、テニスなどできるようにする。また、何かしらの打ち上げをするために使える、貸切にできるスペースを用意することで、団体で利用ができ、たくさんの人が荒川に来てくれるだろうと考えました。

また、このような場所を用意することで、楽しく大人数で荒川を楽しめるなどと考えました。

これで3班の発表を終わります。ご清聴、ありがとうございました。

◎区長室長

3班の皆さん、ありがとうございます。

それでは、この場に残っていただいて、残りの2班の皆さんから、質問や意見、感想などお聞きしたいと思います。

◎中学生（2班）

さっきの3班の発表を聞いて、自分たちは設備を設置するとか、荒川自体に何か追加の建物を設置するかと考えていたんですけども、3班さんは、荒川をたくさんの人に知ってもらうという広告という新しい観点というか、自分たちにはない観点から見ていて、ああ、すごいな、こういうのもあるんだなと知ることができたので、とてもよかったなと思います。ありがとうございました。

◎中学生（2班）

3班さんは、すごくいろんな、区民のいろんな人の視点から、どんなふう知ってもらうとか、いろんな種類の広告を考えていたり、いろんな世代に向けて、いろんなことを考えていてすごいなと思いました。

この広告の手段というので、ちょっと質問なんですけど、QRコードを配布というのだと、何か、私だったらいっぱい配られるプリントの中で、急にQRコードだけが来ても、そんな家に帰って、持って帰ってスマホで読もうかなとかまでは、思わないかなと思うこともあるんですけど、何か、そういうふうに読んでもらうための、何かアイデアというか、どうやったら読んでもらえるかなみたいなのがあったりしますか。

◎中学生（3班）

まず、QRコードをあえて配るというのも理由がありまして、これは広告というより、まあ、広告なのですが、興味を持ってもらう、興味を持っていただける人に広告をするというのがとても大切になっておりまして。なぜかという、荒川のことを全く知らない、そもそも川遊びなんか嫌いだとか、そういった興味を持っていない、もしくは地理的にも遠い場所にある、そういった人にパンフレットを配っても無駄なのではないかと私たち考えておりまして、そのために、いろいろなお手紙が日々配られると思うんですよ。そんな中、いきなりQRコードだけどんと載った、QRコードとちょっとだけの文章が載った手紙というのは、割と、親近感があるというか、新規のそして親近感もありますし、新しい、ええ、これどんなのが映るんだろうとか、そう

いうことも考えることができるのではないかと考えておりまして、あえてQRコードという形にさせていただいております。

◎中学生（2班）

ありがとうございます。

◎区長室長

ほかのメンバーの方いらっしゃいますか。大丈夫ですか。

では、区の職員の皆さんからは質問、ご意見、いかがでしょうか。

はい、子ども未来部長お願いします。

◎子ども未来部長

3班さんですね。発表、ありがとうございます。

私が聞きたいのは、『教育・子ども大綱』のところで、子どもと学ぶ、拓く、作るという、3つのキーワードがあり、子どもの意見を反映するということがあったと思うんですけど、我々、区の職員もそういうところを一生懸命、これからも取り組みたいと思っていますが、子どもといったときに、ちっちゃい子から、ある程度大きな人とか、中学生、高校生とかもいらっしゃったり、また、皆さんのように、こういう場に来ている人もいるし、そうでない人もいる。いろんな立場の人がいると思うんですけど、そういういろんな人から声を聞くために、何かこんなことしたらいいんじゃないかみたいな、アイデアがもしあったら教えてください。

◎中学生（3班）

お答えさせていただきます

私としては、行っていることを完全に把握しているわけではないので、やっているかどうかはちょっと分からないのですが、何か意見箱のようなものがあると、でも、あるとしてもやっぱり身近には感じられないと思うのです。自分の意見を何か、反映されるのかとか、本当に見ているのかどうかとか、というのがやっぱり分からないので、そういうことも踏まえて、先ほど言った学校でのプリント配布などにおいてのその広告、宣伝、こういうものがあるよとか、自分の意見を今後の北区に反映させることができる手段があるということをみんなに知らせる、知らせていくことができると思っています。

◎子ども未来部長

ありがとうございます。大丈夫ですか。ほかのメンバーでも言いたいことはないですか。

分かりました。ありがとうございます。

◎区長室長

そのほか、ございませんか。

やまだ区長、お願いします。

◎やまだ区長

ありがとうございます。

1つだけ、大綱のほうのテーマで、子どもと学ぶ、拓く、作る。その大人と一緒に、表紙もそうなんです、皆さんの学校生活や、普通の日常生活の中で、大人との接点がやっぱり少ないなという、大人との距離感は遠いなと感じているのかなというのが、

今回の発表なのかなと思ったんですが、その感覚は大人からすると、あんまりうるさく言うと、息子なんかうざったがられちゃうけど、その距離感ってすごく難しいなと思いながら聞いていました。大人ともっとコミュニケーションを取りたいよと率直に思っているかどうか、そこも、もう一回、この表現されたこと以外で、感覚的なことでもよいです。伺えたらなと思いました。お願いします。

◎中学生（3班）

どうもありがとうございます。

大人と子どもの距離感ということで、なかなか確かに分かりづらかったと思うんですけど、何か、自分としては、子どもが自治活動だったり、自主的に行動したりするというのが、やはり一番大切なことだと思っていまして、なので、大人と子どもの距離感に関しては、具体的にどのようなふうに伝えたらよいのかというのは、あまりこちらとしても具体的に考えられていないのですが、やはり、自治活動とか自主的に行動するというのが、子どもたちでできていければなということが、自分の中で思ったところです。

ありがとうございます。

◎やまだ区長

ありがとうございました。

質問の仕方が、うまくなくてごめんなさい。難しかったと思いますが、すごく私はうれしかったなと思って。すごくポイントとしては、子どもから大人が学ぶというのは、言われなければ感じなかったことというのを、大人として感じました。皆さんがそういうふうに感じてくれているということを、大人も知らなきゃいけないなということを感じかされて、とてもよいなと思いました。

ありがとうございます。

◎区長室長

そのほか、お願いします。

政策経営部長、お願いします。

◎政策経営部長

すみません。私からも2つ、ちょっと聞かせていただきます。

まず、『教育・子ども大綱』のほうですけど、今、意見にもありましたけど、子どもの意見を大人が取り入れていくという考え方、述べていただきましたけど、一方で、デザインのところを見ると、子どもと大人が手をそれぞれ差し出しながら、手を取り合って支え合いながら進めていくというデザインだったと思うんです。だから、子どもの意見を取り入れていくという一方で、子どもと大人が協力し合いながら社会を作っていくという考え方も、ちょっと示されたのかなというふうにも思っているんですけど、その辺りのちょっと違いを教えていただきたいというのが1つ。

それともう1つはかわまちづくりのところ、SNSとか、QRコードとかもあったんですけど、周知、広告をして、皆さんに知っていただくという考え方はちょっと伝わってきたんですけど、一方で、なかなか荒川そのものに魅力がないと、ちょっと行ってみたいというふうにも思わないと思うんですけど、今現在、皆さんたちが考えている荒川の魅力というのは何なのかなというのと、足りないところは何なのかなと

いうところをちょっと教えていただければと思います。

◎中学生（3班）

すみません。1つ目の質問が、それですね。もともと、この社会というのは、大人がつくって、その中で子どもは生きているということでございまして、その中で、子どもの意見を集めるということは、それすなわち、子どもと大人が協力して、この社会をつくっていくということになるのではないかと考えておりまして。そういった面だと、子どもと大人が手を差し伸べ合って、寄り添い合ってつくるということは、子どもの意見を取り入れることと同じなのではないかと私は考えているのですが、いかがでしょうか。

◎政策経営部長

ありがとうございます。

◎中学生（3班）

すみません。ありがとうございます。

◎中学生（3班）

2つ目のご質問に対してですが、今の荒川の課題点と、よいところについてですが、やっぱり荒川は、今、正直、私たちもここに来るまでは、荒川に何があるのかとか、どんなことをやっているのかというのが全く分からなくて、そもそもどこにあるかも私自身知らなくて、行き方も分からなかったので、その辺の認知度などが、今の荒川の人の多さや、人気などが影響してきていると思うのですが、やっぱりいただいていること、荒川で先日、前のモニター会議で回ってまちを見させていただけたのですが、そのときに説明いただいたのが、今行っていることや、やろうとしている行事などがあるんだよということを私たちは知りまして、それが実行されるとやっぱり、川も今後すごく繁栄していくと思うので、行事などに関しては文句なしなんですけど、先ほども言いましたが認知度ですね。どう知ってもらおうのかとか、北区の人たちが荒川をどういうふうに思っているのか、イメージが、ただの川だと思っているのか、それとも、いろんな行事があって、すごく楽しい広場のような場所なのか、というところの解釈などを今後、先ほども紹介していただきましたが、プリントの配布や掲示板での提示などで、今後認知度を上げられていったらよいなと私は思っています。

◎政策経営部長

ありがとうございます。

◎中学生（3班）

すみません。追加させていただく形なんですけど、私自身のその荒川の魅力といいですか、そういったものなのですが、もう自然と人間が共生している、ともに生きているというのがすごくよいなと思っております。荒川というのはもちろん自然が豊かなので、釣りもできますし、太陽の光を浴びながらジョギングとか、そういった自然と戯れる楽しさもありますし、北区のほうで催されているいろいろなイベントとか、そういったものもありまして、そういったものが両立できているというのがすごくよいなと思っております。もともと自然だったものを都市化されることで、その自然の景観とか、いろいろなものが損なわれるということが、今の日本のいろいろなまちづくりで課題になっているなと私は考えておりまして、その面、この荒川は自然を活

かしながら、人々にとっても楽しむことができるという面で、すごくよいまちづくりの仕方をしているなと考えておりまして、そこが私は荒川の魅力だと感じております。

◎藤野政策経営部長

ありがとうございます。

◎中学生（3班）

ありがとうございます。

◎区長室長

そのほか、質問、ご意見、ありますでしょうか。大丈夫ですか。

では、ほかに質問がありませんので、3班の皆さん、発表ありがとうございました。

それでは、最後、2班の皆さん、発表のほうをお願いいたします。

◎中学生（2班）

皆さん、おはようございます。赤羽岩淵中学校から来ました、〇〇〇です。

中学生モニターを通して、今まで知らなかった北区のことや、やっぱり同じ生徒会同士で関わってきたこの中学生モニターで知り合った皆さんと一緒に、やっぱり共通する点が多くて、他校の皆さんとはあんまり関わってこなかったのですが、生徒会とかの共感や、何かいろいろ愚痴とかを話して、もっと何か自分の心を打ち明けられるような仲間に出会えたこと、中学生モニターに来てとてもよかったなと感じました。

これからの北区を、私たちが担っていく世代になってくるので、そのときは私たちが、この中学生モニターの経験を活かして、一生懸命頑張っていこうと思います。

3日間、ありがとうございました。

◎中学生（2班）

滝野川紅葉中学校から来ました、〇〇〇です。

まず、最初は中学生モニターで滝紅中の代表として来るというので、すごく緊張していて、初めに来たときも皆さんでこの北区の大綱について考えてくださいと言われて、こんな北区のことについて、自分が考えられるのかなという不安がすごく最初は大きかったんですが、班のみんなもすごく仲よく話しかけてくれたり、自分が知らなかった意見をみんなが積極的に言ってくれて、すごく知らなかった考えもできることができたし、その活動を通じて最初は不安が大きかったのですが、だんだん3日じゃ足りないなと、もっとみんなで話したり、北区について考えたいなと、もっとやりたいという気持ちが出て、すごく楽しかったです。

これからも、このような活動をもっと北区で行ってほしいと思います。3日間、ありがとうございました。

◎中学生（2班）

十条富士見中学校から来ました、〇〇〇です。今回は、この会議に参加させていただいて、とても光栄なんですけど、実際にほかの人たちと同じように、私もほかの人とは実際に話したことないですし、それにやっぱり緊張もしました。ですけど、やっぱりこうやって話し合いを通じて、いろいろな意見を出したり、最初に目的はみんな言っていました、その目的も達成されたと考えたら、本当にとってもよい会議だったと思います。

これで最後だし、これも多分、一生に1回の経験だとは思いますが、その最後

の会議をしっかり活かして、人生楽しんでいきたいと思います。ありがとうございました。

◎中学生（２班）

都の北学園の〇〇〇です。この３日間の中学生モニターの会議を通して、初めはほかの学校の人とも、グループワークがとても自分の意見を言えるかなと心配だったんですけど、少しずつ自分で意見を言うようになってから自信がつくようになって、とても楽しかったです。３日間ありがとうございました。

◎中学生（２班）

堀船中学校から来ました、〇〇〇です。最初は僕、やっぱりすごい緊張して大丈夫かな、話せるかなと思ったんですけど、班のみんなが明るくて、すごく積極的に話してくれたし、やっぱり話し合いとしてとても充実した３日間となりました。本当にありがとうございました。

◎中学生（２班）

それでは発表を始めさせていただきます。これから２班の発表を始めます。よろしくお願いします。

まず初めに、テーマ１の子ども大綱の部分から始めさせていただきます。発表を聞いている皆さん、大綱にはどのようなイメージがありますか。北区長のやまだ加奈子さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

◎やまだ区長

難しいというイメージです。

◎中学生（２班）

ありがとうございます。私たち２班が考える大綱のイメージは、さらにこの北区をよりよくするための目標やかなえたいことというのが大綱だと感じました。

では、今北区が掲げている「子どもの幸せＮｏ．１」を基に、作成した２班の子ども大綱についてお話させていただきます。

◎中学生（２班）

私たち２班は、この画像１枚で大綱の案を作りました。キャッチコピーは前途洋々です。これは今後の人生が大きく開けており、希望に満ちあふれている様という意味です。北区に住む子どもや家族、これから生活していく人などの人生が開けていて希望に満ちあふれるとよいなと思い、この四字熟語を選びました。

また、サブタイトルは「き・た・く」です。北区の「き」、「希望にあふれ」、北区の「た」、「たくさんの人を支え」、北区の「く」、「区民の声をよく聞く」です。これからこのキャッチコピーやサブタイトルについて詳しく説明していきます。

◎中学生（２班）

続いて、キャッチコピーの意味です。前途洋々の意味、未来が明るく開けていると同じように、この企画のキャッチコピー前途洋々は、北区の子どもの将来が大きく開き、希望に満ちあふれている。子どもが毎日生き生きと過ごしていけるという意味を込めました。文章よりも四字熟語のほうが短く、印象を与えやすいため、北区の皆さんが前途洋々を意識できるのではないかと考えました。

◎中学生（２班）

続いて、「き・た・く」の意味です。「き」の「希望にあふれ」は、北区の子どもや区民が希望にあふれた生活ができる。「た」は、たくさんの人を支援、子どもだけではなく、大人にも支援があり、暮らしやすい。「く」は、区民の願いを聞いてもらえるという意味です。この「き・た・く」には、北区にこうなってほしいという思いを込めて、北区であいうえお作文を作ること、区民に伝わりやすく覚えやすいように作りました。

◎中学生（2班）

次に、大綱のデザインで工夫したところです。

1つ目は、フォントを工夫して、人が引き込まれるような構成にしたところです。

2つ目は、希望のイメージがある黄色に統一したことで、より見やすくしたことです。

3つ目は、イラストを多くして、見てみたいと思わせられるようにしたところです。

3つとも触れやすく、親しみやすい工夫になっていて、より広い世代に大綱を認知してもらえと思っています。

◎中学生（2班）

次に、かわまちづくりの発表です。かわまちづくりでは、もともとある場所からほかのことにつなげ、北区の良さをさらに発信していくことを目指し、いろいろな案を生み出してきました。特に2班では、自分の視点や周りの視点で楽しいかを確認し、汎用的に楽しい施設やイベントを考えました。

2班のテーマは、幅広い世代に思い出を与える荒川です。お店を増やしたり、映えスポット、きれいなお花畑、季節に合った顔はめパネルを作るなど、来てみたいなんて思って、写真撮影などをする人が多いと思うので、そういう思いを残すためにそういう案を作りました。

また、スポーツ広場、休憩所、自販機などを設置することで、遊べたり、休憩をしたりして、幅広い世代の人が安心して利用することができます。

ほかにも、水門の心霊スポットなどがあるので、地元アイドルならぬ、地元インフルエンサーというものを作って発信して、多くの人に知ってもらい、より荒川に行きたいと思う人を増やすという作戦です。

また、移動中暑かったり、道が長かったりするので、小型の交通機関をつくったり、移動を楽にすることで、もっと人が来ると考えました。

◎中学生（2班）

私たち2班が考えたこの荒川をもっと盛り上げるために、荒川の家を作るというアイデアを考えました。

荒川の家とは、海の家のように、みんなが楽しくご飯やスイーツを楽しめる場所です。このような施設を水辺に造ることで、地域の小・中学生の待ち合わせ場所になったり、休憩所、ご飯を食べる場所として活用でき、さらによい荒川をつくることできると思います。

幅広い世代に愛される荒川を目指す2班の意見として、すごくよいお店だと感じました。荒川の家は、地域にとってたくさんの人気が出る、とてもよいスポットになる

のではないのでしょうか。地域をさらに盛り上げ、地元をもっと明るくできるイベントも、この荒川の家では行えるのではないのでしょうか。

◎中学生（2班）

そして、2班では、この荒川の家である地元グルメとして、水門カレーを開発しました。右側の赤色は旧岩淵水門の赤水門、左側の水色は、新しい今の岩淵水門の青水門を表しています。このような珍しく、ほかにない、ここだけしかないご当地グルメを作ること、観光に来た人や地元の人にも食べてもらい、荒川の水門について興味を持ってもらったり、このカレーを求めてくるような人が増えたらよいなと思います。このカレーを食べて、たくさんの人に元気を出していただきたいです。

以上で、2班の発表を終わります。ありがとうございました。

◎区長室長

それでは、ほかの3班の皆さん、質問、ご意見、感想などありましたら、お願いいたします。

◎中学生（3班）

すみません。発表、ありがとうございます。〇〇〇と申します。

大綱もまちづくりもそうなんですけれど、すごく具体的な内容を説明されていて、その具体的な内容をいろいろ出される中、それらをスライドにまとめると結構抽象的な、例えばこの区民とより関わり合えるとか、子どもと大人がより寄り添うみたいな、そういった抽象的なことになってしまう一方、このスライドというのは、具体的なことをすごくまとめられていて、それがすごくよいなと考えました。

そして個人的に「汎用的」という言葉は、めちゃくちゃぐさっと刺さりました。すみません。言葉が荒くなってしまったのですが、あれですね。このまちづくりをしていく中でも、幅広い年代に合わせたものをつくっていくことは大切だなと考えました。

すみません。1つ質問なのですが、これは私の食の知識が乏しいのも問題だと思うのですが、ご飯にというか、食物に青色というものが合うのかについて、お聞きしたくて……。

◎中学生（2班）

富士山カレーというものが存在していて、それはもう真っ青なんです。真っ青に富士山みたいにご飯が乗っているという商品があって、それを見つけて、それからこの荒川でも、そんな感じのご飯が作れたらよいなと思って、富士山の青があるので、よいなと思っています。

◎中学生（2班）

この水門カレーは、ちょっと2班で開発したんですけど、この赤い色の部分と青色の部分、着色料を使って作ればよいなと考えております。ごめんなさい。何か、赤水門と青水門みたいな。何か、さっき言ったように、富士山カレーもあるように、富士山カレーがあるなら、水門カレーがあってもよいでしょうという考えになったので、赤と青のカレーを作り、真ん中にご飯をやることで、インパクトのあるカレーを作れば、とてもよい地元グルメになるのではないのでしょうかと考えました。

以上です。

◎中学生（３班）

すみません。ありがとうございます。

また感想になってしまうのですが、すごくインパクトがあるじゃないですか、このカレー。本当に多分、一度見ただけで、今後多分２０年後ぐらいに多分ふとしたタイミングで、荒川を見たら思い出すと思います。これ、すごいこの青色で、少し攻めたなという印象がございまして、それが物すごい、個人的にすごい好きです。やっぱり地元グルメとして、よりインパクトを持たせるために、すごく工夫していらっしゃったんだなと感じました。

すみません。感想がメインとなってしまいましたが、以上とさせていただきます。

◎中学生（２班）

ありがとうございます。

◎中学生（３班）

イラストや文字のフォントを変えて、とてもスライドは見やすかったです。荒川の家、自分たちの班も川の家という同じような案を出した中でも、やっぱり詳しく深く書いていたので、さらに分かりやすくて、もうぱっと見だけでよいなと思えるスライドでした。

自分一個質問があって、このサブタイトルの、希望にあふれ、キャッチコピーにある、子どもの将来が大きく開き、希望に満ちあふれている、子どもが毎日生き生きと過ごしていけるために、どのようなことをするのかと思って、ちょっとそれを聞かせてほしいです。

◎中学生（２班）

質問、ありがとうございます。

希望にあふれというのは、いろいろな意味があります。希望にあふれはまず、この北区がさらに発展していく、そういう希望を持つこと。あとは、この北区がさらに、例えば、先ほども言った荒川の家のように、荒川がよくなったり、北区の何かがよくなったりすることを希望という意味で表しています。希望を表すことで、さらにこの北区がもっとよりよくなる、もっと私たちが世代を担って行って、さらに北区が観光客やいろんな人が増えていくという意味で、いろいろな希望を表して北区の希望にしています。

◎中学生（３班）

ありがとうございます。以上です。

◎区長室長

ほか、質問、ご意見ないですか。大丈夫ですか。

では、職員の皆さんからは、何かありますでしょうか。

教育振興部長、お願いします。

◎教育振興部長

発表、ありがとうございました。すごくスライドも分かりやすくて見やすかったと思いますが、せっくなので、それぞれに質問をさせてもらえればと思います。

まず、大綱のほうなんだけれども、四字熟語にまとめて、分かりやすくパーンと出して、その意味を説明してもらっている。それはそれですごいやり方、よいやり方だ

とっていて、民間のコマーシャルとかというのは、結構そういうことやるじゃないですか。ただ、みんなの思いというのは、打合せのときにいろいろパパパパといっぱい出てきたと思うんだけど、前途洋々に絞り込んでいたら、みんなでこれでいいよねとなったのか、どういう経過だったのかなというのをまず聞かせてもらいたいですというのが1個目です。

かわまちづくりのほうについては、荒川の家ってほかの班で出ていましたものね。出ていて、その意見というのは結構あるんだなというのがすごく面白かったです。カレーについても、富士山カレーを僕、食べたことあるのでよく知っていますけれども、それはそれでよいと思っています。

幅広い世代の思いを与える荒川で、いっぱいプラン出してもらったじゃないですか。その中で、何だろう、みんなの2班の中での一押を出してもらえるとありがたいなとっていて、ちょっとそれを教えてもらってよいですか。

◎中学生（2班）

1つ目の前途洋々についてなんですけど、やっぱり最初の話合いの段階でも、希望という言葉がすごく2班の中で出ていて、希望があふれていたり、そういう北区になったらよいなという思いがあって、それを四字熟語とか、二字熟語とか、分かりやすく表せないかなというので、希望とかを表す四字熟語を調べて、そこに「前途洋々」というのが出てきて、その意味が、今後の人生が大きく開けたり、希望に満ちあふれているさまというので、すごくみんなで、これめちゃくちゃいいじゃんというふうになって、それになりました。

以上です。

◎中学生（2班）

2個目の質問に答えさせていただきます。皆さんのこの2班の一押しという話を聞いて、一押しかとちょっと。一押しというのは、実はあまりないんですけど、2班が個人的にすごく盛り上がったのは、心霊スポットをはやらせるという意見が。皆さん水門が心霊スポットだと知っていましたか。あまり知らない。実は、東京都でかなり危ない心霊スポットになっているらしくて、それを聞いて、この水門、もしかしたら、もともとは川の氾濫とかを止める役割として活かされていた水門も、もしかしたら心霊スポットとしてもよい役割を担ってくれるのではないのかなと考えました。地元のインフルエンサーというのは、このインスタグラムなどでもいるように、このイメージキャラクターがいるじゃないですか、北区にも。何かパンダの足が長いキャラクターがいらっしゃったと思うんですけど。

◎中学生（2班）

きたパン。

◎中学生（2班）

ああ、きたパンですね。きたパンなどのように、きたパンの何か、擬人化のように考えていただければと思います。

よろしくお願いします。

◎教育振興部長

ありがとうございます。よく分かりました。

◎区長室長

子ども未来部長、お願いします。

◎子ども未来部長

発表、ありがとうございます。

私が聞きたい点は、2つあるんですけど、まず、大綱のところでは、子どもの将来が大きく開き、希望に満ちあふれているというのがあって、では、そのために大人とか、社会に今、求めたいことは何だ、みたいなそんな議論がもし、あったら、教えてほしいし、もしなくても、今思い浮かぶものがあったら教えてもらいたいなと思います。

もう一点は、3班さんだけじゃないかもしれない。ああ、ごめんなさい、2班さんですね。2班さんだけじゃないかもしれませんが、かわまちづくりのところで、水と、こう親しむみたいなの、川辺というか、岸のほうだけじゃなくて、水上を使うみたいなの、何かそんなアイデアとかあったりしたら、あったりしましたでしょうか。その辺きかせてください。

◎中学生（2班）

特に、大人たちにやってもらうことというのは、さっきも説明したとおり、お店を増やすとか、映えスポットを作るなど……。

◎中学生（2班）

そっちじゃない。

◎子ども未来部長

ごめんなさい。

◎中学生（2班）

親に、親じゃない、間違えた、大人に……。

◎子ども未来部長

大綱のほうね、大綱のほう。

◎中学生（2班）

大綱のほう。

◎中学生（2班）

さっきも何か、希望である北区が発展していくとか、子どもがいろんなことを覚えるというのがあったんですけど、そういう何か子どもがやってほしいことがいっぱい増えていたり、そういうことを実現してくれるのは大人だと思うので、子どもの意見をいっぱい取り入れてくれたり、子どもが何かこれに挑戦してみたいなと思ったときに、それに挑戦できる設備というか、環境が整えられているまちだったら、いろんなことに子どもがやってみたいなとなるし、そういう何か、まず誰か一人が始めたら、ほかの人も自分も挑戦してみたい、北区でこんなこと挑戦してみたいなと思えると思うので、そういういろんなことに挑戦できる環境だったり、子どもがやりたいものを整えてくれる大人がいたらよいなと思いました。

◎子ども未来部長

ありがとうございます。

◎中学生（2班）

2つ目の質問なんですけれども、水と親しむために、僕たちの班で出たのが船に乗れるイベントだったりが出たんですけれども、例えば、船に乗って、岩淵水門でこういうことがあったんですよみたいな説明会でもよいですし、あとは釣りとして何か、子どもとか初心者でも、やりやすい釣りのイベントを作ること、より荒川に親しむことができるのではないかと考えております。

以上です。

◎子ども未来部長

ありがとうございます。

◎中学生（2班）

個人的な意見にはなってしまうんですけど、かっぱ広場にすごく、何というか、心が動きまして。今まで赤羽、実は、昨年度のクリスマスとか、お正月辺りに、火事がすごくあって、そのときの現場のときは、赤羽小学校のプールの水を使ってやったのですが、私、実際、実はそのときの現場にちょっと実は近くにいて、そのときに何か、その火が消火するまでの消防隊とかが来るまでの時間が、ちょっと実は遅いなとすごく感じたことがありました。それまでにちょっと、人の命とかが危ないなと感じたので、かっぱ広場のような公園を、広場とかを増やすと、何か多分、赤羽、実はちょっと危ないまちだと思うので、やっぱりそういう犯罪とかが頻繁に起こってしまう傾向ではあると思うんです。かっぱ広場のように、誰かを助けられる広場、例えば、ベンチのところにあったかまどとか、その水を、火事をさらに防ぐやつとか、そういうのをさらに増やしていくことで、もっと何か、そういうちょっと今、何か危ないところとかがあるところを、さらに変えていけるのではないのかなと思いました。

そのような、かっぱ広場のような公園を増やしてほしいなと私は考えます。

以上です。

◎子ども未来部長

ありがとうございました。

◎区長室長

そのほか、質問、ご意見、ないでしょうか。

では、2班の皆さん、発表ありがとうございました。

6 . 言 薦 言 平

◎区長室長

これで、全班の発表を終わりました。モニターの皆さん、発表お疲れさまでした。

皆さん、すばらしい発表と感想をありがとうございました。私も見ていて、皆さんもう明日から区役所で働けるんじゃないかなと思うくらい、皆さんははっきりと意見などもおっしゃっていて、すばらしいなと思いました。

それでは、ただいまの皆さんの発表や感想を受けまして、区の出席者から、ひとつずついただきたいと思います。

初めに、まちづくり推進課長からコメントのほうをお願いいたします。

◎まちづくり推進課長

皆さんの発表、ありがとうございました。また、第2回会議では、先週の金曜日ですか、午前中まち歩きをして、午後グループワークを行いまして、本当に暑い中だったんですけども、皆さんお疲れさまでした。本当に皆さんの鋭い視点からのご意見をたくさんいただきまして、本当にすごいなと思いました。

これを、これから我々のほうで、かわまちづくりのほうに取り入れていきたいと思いますので、ぜひ、荒川であったりとか、また、荒川の岩淵・志茂のかわまちづくり、また北区、ほかにもいろいろまちづくりが進んでいますので、どうぞ皆さんのまちづくりに関心を持ちながら、見ていただければと思います。

どうもありがとうございました。

◎区長室長

次に、企画課長、お願いいたします。

◎企画課長

皆さん、発表ありがとうございました。とても素晴らしい発表だったと思います。せっかくの機会なので、発表順に少しずつコメントをしていきたいと思います。よろしくお願いします。

まず、最初に1班、私からは、『教育・子ども大綱』のキャッチコピーとデザインについて、コメントしたいと思います。キャッチコピーについては、その中で「子どもの幸せNo.1」という単語を使ってくれていたかなと思います。北区では、その言葉を掲げて事業を推進していますが、認知度がまだ少し低いかなと考えていますので、今回の発表を踏まえて、この「子どもの幸せNo.1」を大綱のキャッチフレーズにするようなことをこれから考えていきたいなと思っています。

次に、デザインについては、発表の中で、イラストや色を使うことを提案していました。その中で特に、分かりやすさや親しみやすさ、そういったことが大事ということだったので、そういった点にも十分配慮して、大綱案を進化させていきたいというふうに考えています。

最後に1班で特徴的だったと思うのは、現在の大綱へ、ちょっと厳しめの駄目出しがあったかなと思います。言いにくいことでもはっきりと言っていくことはとても大事なことだというふうに感じたところです。

以上です。

続いて、発表順なので3班についてコメントします。

3班のキャッチコピーについては、子どもとそれから社会、大人、そういった点に注目をして考えてもらったのは、とてもすばらしかったと考えています。特に子どもと拓く社会というところでは、子どもが自分の意思を持って育っていくというような説明があったと思います。子ども目線でのキャッチコピーとなっていて、そういった視点は非常に大変大切だなと感じたところです。

それからデザインについてです。区で作成すると、表紙に大きく『北区教育・子ども大綱』と書きたくなりますが、3班のデザインは、キャッチフレーズが大きく、前面に出ていて、それ以外のことは小さい文字で書いていたかなと、そういったデザインについても参考になるのかなと感じたところです。

最後に3班で特徴的だったのが、体系図とか、概念図みたいなものを作っていた点

になります。そういったものがあると思っただけじゃなくて、ビジュアル的にも非常に分かりやすくなるかなと感じたところです。

最後、2班について、2班のキャッチコピーについては、前途洋々、発表とか、質疑の中でもありましたけども、子どもの将来を大きく開き、希望に満ちあふれている、また、子どもが毎日生き生きと過ごしている。そういったイメージをコンパクトに表していて。とてもすばらしいキャッチフレーズだなと感じました。

次に、デザインについては、フォントの工夫とか、イラストを多く使うことや、希望を明示させる黄色で統一していくような提案もあったかなと思います。今後、大綱案を作成していくときには、統一感というものも考えて大綱をつくっていきたいと思いました。

最後に、2班で特徴的だと思ったのは、あいうえお作文で北区を表していたところです。そういった視点は、行政ではなかなか思いつかないので、柔軟な考え方をしていくことが非常に大事だなと感じたところです。

今回、皆さんの提案を踏まえて、これから私どもの企画課のほうで大綱の案を作っていくしたいと思います。これからパブリックコメント等を実施するときに、形になって見えてくると思いますので、ぜひ皆さんの意見がこういった形で具体化していくのか、楽しみに待っていただけたらと思います。

本日は、どうもありがとうございました。

◎区長室長

続いて、教育振興部長、お願いいたします。

◎教育振興部長

教育振興部長です。皆さん、発表ありがとうございました。

僕も、それぞれコメントしたいと思います。

みんなからひと言ずつ取り組んでもらったときの感想を言ってもらったと思うんですけど、たしか1班は、始め、正直あまり参加したくなかったけれども、やってみたら楽しかったというご意見あったと思うんです。ほかのみんなも多分、そういう思いというのは始めあったんじゃないかなと思うんです。実際にやってみたら面白かったというのは、すごい大事なことだと思っていて、ぜひその思いを大切にしてもらいたいなと思います。

僕らも仕事する前に、これいやだなと正直思ったりすることがあるんだけど、やってみたら実は面白いと、結構やっぱりそういうものというのはいっぱいあって、そういう思いは大人になっても続くものだと思っていますので、この経験を大事にしてもらいたいというふうに思っています。

1班の意見の中では、フレーズを落としていくときにコミユカとかポジティブ思考みたいな話がたしかあったと思うんです。そういうものも何か新しいものを作っていくときに、非常に大事になるものだと思っていますので、今後も大事にしてもらえればと思います。

大綱のところの作り込みなんかは、2つキーワードを出して、4つずつ視点を並べて、どういうふうに関連しているかと、本当に僕ら役所の人間も、普通にああいうふうに考えていくやり方だと思っていて、そういった思考の仕組の、思考の積み上げ方、

今後も参考になるかなというふうに思っています。

3班のほうからは、中学生すげえというのが第一印象で、レベルが高いというお話がありました。正直、本当に高いと思います。それぞれの発表でも、やっぱり視点が違って、3班、川の話を出してきてくれたときに、PRの仕方というところを主眼に置いてくれましたよね。それは多分、北区が色々やっているというのは、何となく見て分かったけれども、そもそもやっていることすら俺たち知らないよという話が発端だったと思っていて、うなづいてくれているけれどもそれで合っているよね。そこを切り込んでくれた。逆に、ほかのところは、いやいや、もうちょっとうこういうイベントやったらどうか、こういうアプローチしてみたらどうというところが、やっぱりいろんな人がいることによって、視点が違うということが、僕も聞いていて、いろいろなアイデアがあって、すごく面白かったなというふうに思っています。

2班のところのご意見の中でも、グループワークで、意見を出せるかどうか心配だったけれども、やってみたらどんどん話せるようになってきた。それは大人も一緒に、知らない人と話をするときは、やっぱり毎日緊張するんだけれども、やっぱり話し始めているとどんどん調子に乗ってきて、僕みたいに今、ベラベラしゃべれるようになるというのも正直あたりするので、さっき言った、やる前はそうは思っていなかったけど、やってみたら面白かった、話し始めたら乗ってきたというのは、大事にしてもらいたいなというふうに思っています。

3班の提案、非常に汎用性があって、具体的だったと思っていて、とてもよかったと思っています。正直、僕は、心霊スポットというのは、全く知らなかったの、戻ったら調べてみようと思います。

ただ、最後に1個、子どもが挑戦することができるような環境整備とか、そういったものがつくればということは、北区役所として、すごく大事なことだと思っていますし、教育現場、学校現場の中でもすごく大切だと思っています。またその辺りを持ち帰りましたら、学校の先生たちが集まる学校長会とか、そういうところでもこんな意見があったということを伝えたいと思っています。

本日は大変参考になりました。ありがとうございました。

◎区長室長

次に、子ども未来部長、お願いいたします。

◎子ども未来部長

皆さん、本当にありがとうございました。3日間、充実していたという感想が、どなたかからもあったと思うんですけども、その様子がこの発表を聞いていても、とても伝わってきました。ありがとうございます。

本当、限られた時間の中で、どの班も議論を深めていただいたと思っています。

最初の感想のところからもあったと思うんですけど、やっぱりこの経験の中で、いろんな視点から物事を見えることとか、実際に現場に行ってみる、あとはいろんな人の意見をしっかり聞いて、そこで自分の意見を言う。その中で過程の中でもいろいろあるかもしれないけど、まず1つの結論を出していくという、とても貴重な経験を多分してもらったかなと思っています。

このことは、私も仕事始めてもう30年以上たっちゃうんですけど、仕事において

も今、皆さんが言ったことと同じだと思っているんですね。やっぱり、現場に行く、いろんな意見を聞く、いろんな視点から物事を見る、これは本当普遍なので、皆さんぜひこれからもこの経験を活かしてもらいたいなと思っています。

私は、子ども未来部というところで仕事をしているので、皆さんが取り組んでもらった『教育・子ども大綱』のところに大きく関わる仕事を今、しているんですけれども、本当にたくさんのキャッチコピーとか、見せ方とか、どの班もすてきな提案をいただけたと思っているので、これから庁内で企画課中心に意見をまとめていくんですけれども、自分も皆さんの意見を参考に、意見を言っていこうと思っています。

また、子ども条例の話というのは、多分皆さんも知っていると思うんですけど、これまでも北区は中学生とか、小学生とかも、モニター制度もあるので、子どもたちの意見を聞くというところに、力を入れてきたと思ってはいるんですけど、これからもっと頑張っていきたいと思っています。その中で今日も意見箱というお話もいただいたりしたので、何か、さらに工夫ができることがないかということをも自分も考えていきたいなと思いました。

あと、かわまちづくりのところでは、本当に素晴らしいアイデアがたくさんいただけたかなと思っています。あとは、その中で、最後の2班さんの発表のところでもあったと思うんですけど、安全なまちづくりのためにという視点もあったということも聞いたので、それもすごいよかったかなと思っています。

そのほかみんなからの感想にもあったように、この経験をぜひ活かしてもらいたいと思っているのと、我々も、もっともっと分かりやすい情報発信に努めていかなきゃいけないし、皆さんの意見が言いやすい環境というのもつくっていかなくちゃいけないと思うので、しっかり取り組んでいこうと考えていますが、皆さんと一緒に、よい北区をつくっていけたらよいかなと思うので、これからもどうぞよろしくお願いします。

ありがとうございました。

◎区長室長

政策経営部長、お願いいたします。

◎政策経営部長

今回は皆さん、私たちが区政を進めていく中で、大変貴重な提言をいただいたというふうに思っています。今回、皆さん方から出された意見については、私たちもきちんと受け止めて、それを区政の中に反映させて、進めていきたいというふうに思っています。

今回は、夏休みという皆さんたちにとっても大切な期間だったと思うんですけども、その中の3日間、本当に1日、皆さん方、施設見学もありましたけれども、班の中で議論、討論をしていただいたりもして、これも貴重な経験になったかというふうにも思っていますけれども、この経験も後々に活かしていけるんじゃないかというふうに思っていますので、この貴重な時間を経験したという言葉をお願いいただければというふうに思います。

今回、私たちからお願いしたのは、『教育・子ども大綱』で言えば、キャッチフレーズ、あとはデザインと、そういったところをお願いしたんですけれども、やっぱり

皆さん方、考えてもらっている中で、意見にも出ていましたけど、やっぱり相手にきちんと届く言葉、短い言葉、心に刺さる言葉、そういったような少しポイントとなるような意見も出てきたかというふうに思っているんですけども、やっぱり相手に強い印象を与える言葉というのが、これはデザインもそうなんですけども、相手に届くようなことになるんじゃないかなというふうに思います。

よく、私たちも区政を進める上で、区政をやっぱり伝えるという意味ではなくて、伝わる区政というのをよく心がけるようにしているんですけども、やっぱり伝えて終わりではなくて、やっぱり伝わることで初めて完結するというふうなことを考えながら仕事をしています。

今回キャッチフレーズとか、デザインを考えていただいたのも、やっぱり相手にきちんと届くということを考えながらつくっていただいたというのは本当に大事だったかなというふうに思います。

ただ、やっぱり相手に届くとひと言で言うんですけど、これは非常に簡単なようで難しくて、自分たちがこうやれば相手に届くんじゃないかというふうに考えても、なかなかうまくいかないこともあります。本当に相手の側に立って、相手の立場に身を置いてみて考えてみて、それでどうなのかというふうな考え方で考えていかないと、なかなかそこはうまくいかないと。これは私たちも区政を進めていく上でそうなんですけれども、いろいろ考えてもやっぱり届かない、いろんな仕組みを考えても使いにくい、使い勝手が悪いとかと言われてしまう。そういうことが結構あったりもするので、私たちもやっぱり相手の立場に立ってみて、自分が相手だったらどういうふうに考えれば受け止めるのかというのを考えて仕事をしているんですけども、今回そういうことを考え抜く作業を皆さん方にさせていただいたというふうに思っています。この経験、本当に今後に活かしていただければというふうに思います。

それと、かわまちづくりなんですけれども、これは水辺というのはこういう大都市東京の中であって、水辺、自然というのは本当に大事な空間だというふうに思っていて、この水辺というのは意外と歴史があって、これは皆さん歴史とかでも学んだと思いますけれども、やっぱり古代から川というのは人間にとって非常に貴重な資源だったというふうに思います。そこを活かしながら、まちも発展してきたという経緯もあると思います。その川を改めて今回見直してみて、いろんな歴史・経緯があるんですけども、そこを今の議題、改めて見直してみて、そこを活かしたまちづくりをしていこうというのが、かわまちづくりなんですけれども、そこについてもいろんな視点から考えていただいたかというふうに思います。これも皆さん方から出た提言というのは私どももきちんと受け止めて、これを今後に活かしていきたいというふうに思います。

今回、皆さんから出された意見はこれで終わりではなくて、その意見を基に、ほかの同じような児童・生徒、皆さんからも意見を聞いていこうというふうに思っています。きたコン※2とかを活用して、ちょっと意見を聞いていこうと思っています。さらに、子どもたちだけではなくて、大人の意見も聞いていこうというふうに思っています。

今回、皆さん方から出された意見、原案というふうな言い方をさせていただきます

けれども、この原案がさらにほかの人の意見が加わって、練り上げられて、磨きあげられて、最終的にどういうふうな完成形になっていくのか、そこまで今回皆さん方、最初につくったものの責任として、最後までどういう形になって完成形になっていくのかを見届けていただけたらというふうに思いますので、今後もいろいろとこの区政に関心を持っていただければと思います。

本当に3日間、大変暑い中でありましたけれども、お疲れさまでした。ありがとうございました。

◎区長室長

最後にやまだ区長からお願いいたします。

◎やまだ区長

皆さん、この3日間全部終えて、楽しかった人。ありがとうございます。全員の手が挙がったことが何よりうれしいです。ありがとうございます。

私からはそれぞれの班の発表について、ひと言ずつ申し上げたいなということと、それと私自身が感じたことを2点、そして皆さんにお願いしたいことを2点、申し上げます。

まず、発表順で1班の皆さん。「未来をつくる・夢をかなえる・子どもの幸せNo.1」というキャッチフレーズ。このキャッチフレーズや、また「かわまちづくり」のほうもなんですが、この考え方をまとめるまでの組み立て、コンセプトや課題、そして課題に対する対応策、これを非常に分かりやすく、きちんとしたロジックで展開をして、ここに行き着くんだ、これが必要なんだという、まずその構成が私はすばらしいなと、先ほどもほかの課長・部長からもお話がありましたが、すごく感じました。なので、本当に分かりやすく伝えていくことの組立、私も学ばせていただきましたし、とてもよい内容だったなというふうに思っております。

特に、かわまちづくりの中での季節別のイベントなんかもあるほどだと、また年間を通じたイベント、こういった具体的な案も含めて対応策について考えて提案をしてくれたこと、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

そして、3班は本当に勢いがある面白かったなと思っておりますが、先ほどもちょっと申し上げたとおり、子どもと大人との垣根をなくしていく。ともすれば大人の我々が子どもを子どもとして見ている。これだけではなくて、やっぱり一人の個人として1つの考え方を同じ価値観で共有し、そしてそれについて取り組んでいくという、当たり前のことでありながらなかなかできていないことを気づかせてくれる子どもと学ぶ、子どもと拓く、子どもと作る社会、すばらしい内容だったなというふうに思っております。

そして、荒川かわまちづくりのほうもやっぱり利用者に立ったベンチだとか、設置とか、暑いから日陰を作るとか、そういったことも本当にストレートに分かりやすいご意見だなというふうに思いました。かわまちづくり、川やまちづくりについてはいろんなルールや規制や、これはいいよ、これは駄目だよというルールがいっぱいあるんですけど、そのルールの中で今いただいたご意見をどこまで解釈の幅を広げて、ここまでやってみようというふうに一歩前に区役所として踏み出すかということの思いを持たせていただけたよい提案だったと思います。ありがとうございました。

そして2班、やっぱり四字熟語でキャッチフレーズを表現するってインパクトがあってよいです。これをしっかりと1つずつ解釈を加えていただいた「き・た・く」で「希望にあふれ・たくさんの人を支え・区民の声を聞く」という。これ、よいですね。すごく面白いなということと、興味を持ってもらえそうだなということを感じました。

そして、かわまちづくりで私が印象的だったのは、やっぱり幅広い世代に思い出を与える、この「思い出を与える」という言葉がすごく私は好きでした。与える計画、やっぱり大人も子どもも、どんな人でも川で遊んで、それが思い出としてつながっていくとか、思い出につながっていくという、これはよい言葉だなと思いながら聞いていました。どれも面白い視点で、パワースポットとか、私も知りませんでした。ちょっと怖いのは苦手なので、遠くから見たいなと思っていますが本当に独特な視点での提案をいただいて面白かったです。ありがとうございました。

今、私が感じたこと2点なんですが、先ほども申し上げたとおり、やっぱり大人と子どもを分け過ぎない、子どもも一人の主体として、どこまで私たちが同じ目線で意見を取り入れて、また私たちの意見も同じ目線で伝えていくことができるか、これがとても大切なことなんだなということを感じました。子どもも生活の主体である、このことをぜひとも多くの大人や私たちが伝えて自覚を持っていきたいなというふうに思ったこと。

それから、できることとできないことを割と分けがちです、私たち行政の仕組の中で。できないから、この制度があるから仕方がないではなくて、皆さんがこう利用したいんだと思いをどうやったらかなえられるかということをやっぱりみんなで考えて、ルールとしてできないことはルールを変えてほしいということを経済都市や国や様々な機関に働きかけていくところまで、やる必要があるんだなということを感じました。

そして2つのお願いです。やはり今回すごく体験としてはなかなかない体験をしていただいたと思います。1つは1回目のワークショップの中で、自分らしく幸せに生きていくために必要な力とは何かということを考えていただいたと思います。3つ考えてもらったうちの1つです。それから、幸せなまちとはどういうまちかという、この2つを考えてくれたと思うんですけども、ぜひ自分にとっての幸せとか、自分にとって何がよいかということを感じていただきたいな。今回そういった機会を設けられた中で、皆さんの意見がいっぱい出ました。自分にとっての幸せは何か、自分にとっての幸せなまちとは何かということを感じながら、そして多くの方々に伝えていただきたいと思います。自分はこういうことがよいと思う、こういうことがあったらすてきだと思う、こんなことを変えたらどうだろうということ、自分の価値観の中で感じたことを伝えていく。ちょっと、自分との意見交換なんかでもやりましたが、それぞれ違う意見を持っていることも認めながら、自分の意見も見えていただくような、そんなこれからの人生を歩んでいただきたいなということ。

そして、最後に今日の今回の3日間の体験をぜひ参加できなかった多くの学校のお友達に伝えていただきたいと思います。皆さんは全校の代表です。多くの児童・生徒さんがいる中で、代表として参加をいただいています。この体験をクラスに戻って、学校に戻って、または町会自治会やご家族の方でもよいです。一人でも多くの方に体

験を伝えていただく、感じたことを伝えていただいて、さらに広めていただくことができたらうれしいなと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

3日間、本当に貴重な体験、そしてご意見をありがとうございました。

フ . 閉 会

◎区長室長

ありがとうございました。

大変、名残惜しいところではございますが、とうとう閉会のお時間となってまいりました。

最後になりますが、先週の7月23日第1回目から今日の発表にわたりまして、中学生モニターとして活動いただきまして、誠にありがとうございました。本日で中学生モニターの活動は終了となりますが、今回の活動や経験、知り合った仲間をぜひ大切にいただきまして、引き続き、勉強や部活動など頑張っていただけたらなと思います。先ほど区長からもお話がありまして、この経験、体験をぜひ学校のお友達に広めていただいたり、おうちの方またはまちの方にぜひ語っていただけたらなと思います。

それでは、ただいまをもちまして、令和6年度中学生モニター会議発表会を終了いたします。ありがとうございました。

<用語について>

※1 Google Classroom

Googleが学校向けに開発したWebサービスの一つであり、課題の作成、配布、採点を行うことができるツール

※2 きたコン

北区教育委員会から児童・生徒の皆さんに貸与している学習用端末

令和6年度「中学生モ二タ一会議」

活動記録

令和6年12月

刊行物登録番号 6-1-083

編集発行 北区総務部区長室

東京都北区王子本町 1-15-22

電話 03(3908)1102